

厚村農業委員会、沖縄県 思納村おきなそん 研修旅行について

新型コウナウイルス感染症が、少くおちついた。

二月十六日より、沖縄県 思納村のレタス栽培の  
研修旅行が行われ、来ました。

信州の標高千五百メートルの夏の高原レタス産地、  
川上村との農業技術交流により、思納村下  
冬期にレタス栽培をしようとして、レタス栽培が

平成二十八年より、思納村農家 十六名により  
始まりました。  
※「レタス栽培」…沖縄の方言で、仲間

地産地消で小学校の給食に使ってほしい。たり  
し、耕作放棄地を減らす事に力をつけてほしい。  
少く、問題点も多々感じています。

害虫、害鳥による、食害、下害、  
その「防鳥ネット」を設置しても、塩分をふくんだ  
引風で破れてしまふ。  
そして、一番の問題は、  
レタ又栽培者が、高齢者二人だけになり、  
しまつたといふ事。  
なんとか、行政の方もかんがへて下さつて  
いるよといふ事だ。  
すなわち、事業を、若者の生産者も、  
増えるよといふ事、これだとも、  
続けたいといふ事、  
もつたいといふ事だ。

木下強

以上